平成18年4月

各　位

日本道徳教育方法学会第12回研究発表大会のご案内

拝啓　会員各位におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
表記の通り、私たちの日本道徳教育方法学会では、第12回研究発表大会を、平成18
年6月10日（土）・11日（日）の2日間にわたり、以下の要領で開催することになりました。今回も、最先端の研究が発表される予定です。ご質問の時間も十分にあります。
積極的にご参加いただき、日本の道徳教育の発展にご貢献下さいますよう、ご案内申し上
げます。　（学会事務局）

大会会場
大阪教育大学天王寺キャンパス
〒543－0054　大阪市天王寺区南河堀町4―88（会場までの交通手段については大阪教育大学のHPでご確認下さい。
http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/university.html）
大阪教育大学附属天王寺小学校（6月10日（土）午前中のみ）
〒545―0053　大阪市阿倍野区松崎町1―2―45（会場までの交通手段については、天王寺小学校のHPでご確認ください。http://www.tennoji-e.oku.ed.jp/）
※会場には駐車場がありませんので、自家用車での来場はしないで下さい。
会場は天王寺駅（JR、地下鉄、近鉄）に近く、交通は至便です。

参加申し込みの方法
日本道徳教育方法学会第12回研究発表大会に参加を希望される方は、別紙の要領で、
必ず往復葉書で、5月31日（水）（必着）までに事務局までお申し込み下さい。

※学校安全の観点から、往復葉書の参加票がないと小学校の授業の参観はできません。
（参加申し込み先は大会会場とは違います。間違わないで下さい。）

大会参加費　2000円―┐・当日、受付にて徴収します。会員の方は「大会参加費」

（会員無料）　　│は無料です。
懇親会費　　7000円──┘・懇親会は会員、非会員を問わず参加できます。
　　・会費未納の会員は、会費の納入をお願いします。

・11日（日）の昼食は天王寺駅周辺にたくさんの食事処もありますが、希望者には弁当
（お茶付1000円）をお世話します。大会参加申し込み葉書（下記に説明があります））で申し込んで
下さい。代金は当日、受付にて徴収します。

・宿泊については、都心での開催ですので、各自でご手配下さい。

第　1　日　　平成18年6月10日（土）　9時30分から受付開始

小学校の参観授業　（大阪教育大学附属天王寺小学校）10時－10時45分
5年生3学級　授業者　植田　和也（香川大学）
　　田村　博久（白山市立朝日小学校）
　　土田　雄一（千葉大学）

理事会　（大阪教育大学附属天王寺小学校会議室）11時10分－12時30分

自由課題研究発表　（発表25分・質疑30分）
分科会1（大阪教育大学天王寺キャンパス　中央館214号室）
司会者　柴原弘志（京都市総合教育センター）・大宮俊恵（鳴門教育大学附属小学校）
①13時30分－14時25分
「幼児期の道徳性の芽生えを培う話し合い活動に関する実践研究」
　　前田　美代（兵庫教育大学大学院）
②14時30分－15時25分
「「いのち」を深める総合単元的道徳学習－9つの生命の様相から生命の認識を深める
試みー」　　鈴木　保宏（愛知県幡豆郡一色町立一色中部小学校）
③15時30分－16時25分
「キャリア教育を支える道徳教育」
　　白木みどり（松任市立北星中学校）
④16時30分－17時25分

「いのちへの思いを育てる道徳遠隔授業－テレビ付き携帯電話でつないでー」
上薗恒太郎（長崎大学）・藤木卓・　瀬浩三・増田祥子・寺嶋浩介・
森田裕介・森永謙二
分科会2（大阪教育大学天王寺キャンパス　中央館213号室）
司会者　　林　　泰成（上越教育大学）・伊藤　啓一（金沢工業大学）
⑤13時30分－14時25分
「「わかる」ことの道徳的行動への影響－知識としての道徳学習の可能性－」
鑓水　　浩（千葉県印西市立木刈中学校）
⑥14時30分－15時25分
「児童生徒の道徳性の深まりを解する手法の研究－教師の「リフレクション」の枠組み
とその実際－」　下田　好行（国立教育政策研究所）
⑦15時30分－16時25分
「教師は道徳を教えることができないのか？」
上地　完治（琉球大学）
⑧16時30分－17時25分
「宗教的情操を育む道徳教育」
笹田　博之（徳島県松茂町教育長）
懇親会（天王寺東映ホテル）　18時30分～20時30分
第　2　日　　平成18年6月11日（日）9時00分から受付開始

自由課題研究発表　（発表25分・質疑30分）

分科会3（大阪教育大学天王寺キャンパス　西館W1号室）
司会者　　永田　繁雄（文部科学省）
⑨9時30分－10時25分
「道徳教育研究推進をしていくための役割と働きかけの実際－道徳教育推進担当者の立
場から－」　　藤本　嘉江（広島市立日浦小学校）
⑩10時30分－11時25分
「子どもに夢と希望とあこがれを与える「校長の卒業記念授業」の取り組み」
村田　盛一（豊中市立上野小学校）

分科会4（大阪教育大学天王寺キャンパス　中央館214号室）
司会者　　竹内　善一（鳥取大学）
⑪9時30分－10時25分

「いのちに対する丁寧さを育てる交流学習体系の研究」
南波　聡（長崎水産高等学校）・上薗恒太郎
⑫10時30分－11時25分
「高等学校における道徳教育の実践的課題－研究開発学校の取組を中心として－」
兼松　儀郎（鳴門教育大学）

分科会5（大阪教育大学天王寺キャンパス　中央館213号室）
司会者　渡邉　満（兵庫教育大学）
⑬9時30分－10時25分
「人間の在り方をめぐる道徳教育の意義について」
佐藤　光友（大阪明星中・高等学校）

分科会6（大阪教育大学天王寺キャンパス　中央館215号室）
司会者　堺　正之（福岡教育大学）
⑭9時30分－10時25分
「「道徳」の授業に対する大学生の「感想文」の分析」
黒田　耕司（北九州市立大学）
⑮10時30分－11時25分
「教職志望学生の生命観についての検討－他者へのまなざしの視点から－」
田沼　茂紀（高知大学）

会員総会（大阪教育大学天王寺キャンパス西館W1号室）　11時30分－12時30分

評議員会（大阪教育大学天王寺キャンパス大会議室）　12時40分－13時40分
シンポジウム
（大阪教育大学天王寺キャンパス西館W1号室）　14時00分－16時30分

道徳授業を創る－生命尊重について－
日々の道徳授業実践を支援するためのシンポジウムである。授業をシンポジウムの舞台に上げて議論する。日本道徳教育方法学会2006年のシンポジウムは、2部形式で構成される。道徳授業実践と授業の論議とである。これは、授業で語るシンポジウムである。

道徳授業にどれほどの力があるのだろうか。子どもたちをめぐる事件が起きるたびに、道徳の必要性が語られ、道徳への批判が語られてきた。学校教育の存在意義に関わるこの課題を本年もわ

れわれは取り上げる。昨年われわれは道徳資料を舞台に上げて論議した。行きつくところ、授業においてどうなのかであった。それならば、実際の道徳授業によって論議しよう。

道徳の時間は特設されて以来、実施率が問題にされることが多かった。しかし、道徳授業が各地の学校でおこなわれるにつれて、道徳授業のもつ力、すなわち質が問われる時になっている。

道徳授業も多様に展開されるようになった。『心のノート』が読み物資料によるだけではない可能性を広げてみせた。読み物資料を用いる1時間の授業にも各地にさまざまな展開があり、他教科や総合的な学習の時間と結んだ授業、体を動かし、技法を身につける手法など、道徳教育への多様な接近がおこなわれている。学校教育を全国一律につないでいた手綱が個性や特色へと様変わりしたように、道徳の時間も創意工夫で力のある授業を創る時になっている。道徳授業をいわば各人が創っていく時代に入ったのだろう。

シンポジウムでおこなう3つの道徳授業を比較考量できるように、2つの共通の前提を設けた。公開授業では、生命の尊重について授業をする。生命の尊重が道徳における軸の1つであることは、子どもをめぐる状況から、全国の学校の重点目標から、首肯されるところである。また、シンポジウムでは、小学校5年生に焦点をあてた。義務教育の真ん中の年齢段階であるから。ギャングエイジから思春期への、自分を軸とした感覚から社会性のある思考への転換期にある小学校5年生を対象として、全ての学年に遡及する論議を展開したい。

日本の将来と道徳教育に関わるすべての人に参集をお願いする。

シンポジスト　植田　和也（香川大学）
田村　博久（白山市立朝日小学校）
土田　雄一（千葉大学）
司会者　上薗恒太郎（長崎大学）
藤永　芳純（大阪教育大学）

参加申込みの方法－事前登録制です

※学校安全の観点から、参加票がないと小学校の授業は参観できません。
必ず、往復葉書で以下の要領で申し込んで下さい。ご協力をお願いします。

往復葉書記入例

返信		往信
○ ○ ○ ○ 様 ↑必ず「様」で ご記入下さい	返信先	第12回研究発表大会に 参加を希望します。 ①氏名（ふりがな） ②勤務先名 ③〒勤務先　所在地 ④勤務先　TEL ⑤〒自宅　住所 ⑥小学校の授業参観の有無 ⑦懇親会の参加の有無 ⑧2日目の弁当希望の有無

プライバシーには十分配慮いたしますが、
不都合のある方は⑤は無記入でも結構です。

参加申し込み票の送り先

〒582-8582　大阪府柏原市旭ケ丘4―698―1　大阪教育大学　C6－109内
日本道徳教育方法学会事務局

5月31日（水）必着